

1. 病院の沿革

岩手県における県立病院の中核的存在として歩んできた歴史的過程は、次のとおりである。

昭和 8 年 5 月	明治 23 年開業以来 40 有余年の歴史のある私立病院の経営委譲を受け、有限責任購買販売利用組合盛岡病院として発足
昭和 11 年 10 月	岩手県医薬購買販売利用組合連合会盛岡病院に改称
昭和 16 年 12 月	保証責任岩手県信用購買販売利用組合連合会盛岡病院に改称
昭和 18 年 11 月	岩手県農業会盛岡病院として岩手県農業会に移管改称
昭和 23 年 11 月	岩手県厚生農業協同組合連合会盛岡病院に改称
昭和 25 年 11 月	岩手県立盛岡病院として県に移管改称
昭和 29 年 4 月	地方公営企業法一部適用
昭和 35 年 4 月	建物の改築とともに岩手県立中央病院に改称 地方公営企業法全部適用
昭和 44 年 4 月	岩手県における成人病対策の一環として成人病センターを併設し、全面業務開始（中病 385 床、センター100 床、計 485 床）
昭和 46 年 4 月	臨床研修指定病院に指定
昭和 47 年 8 月	成人病センター増改築工事完成（一般 477 床、結核 45 床、伝染 20 床、計 542 床）
昭和 59 年 3 月	県民の医療ニーズに対応し、最新で高度な医療を提供すること等を基本方針として移転新築工事に着工
昭和 61 年 10 月	新病院竣工
昭和 62 年 3 月	新病院全面業務開始（一般 685 床、結核 45 床、計 730 床）

2. 新築移転後の動向

平成 2 年 4 月	国立療養所盛岡病院附属看護学校実習生受入 盛岡市医師会附属盛岡高等看護学院実習生受入 I C U（8 床）、4 階東（58 床）・・・66 床 特 3 類看護の承認（累計 5 病棟、244 床、33.4%） 胆石破碎装置始動（平成 9 年度除却）
7 月	磁気共鳴映像装置更新始動
10 月	4 週 6 休制試行開始
11 月	5 階東（59 床）・・・特 3 類看護の承認（累計 6 病棟、303 床、41.5%）
12 月	地域医療連携室発足
平成 3 年 1 月	当院初の骨髄移植実施
4 月	胃検診車による胃検診事業を廃止 中央病院組織変更（中央放射線部、中央手術部、中央検査部の 3 部門、部制施行） 中央病院内に「医療局職員生活相談ルーム」設置（平成 6 年 3 月廃止）
5 月	4 週 6 休制本格実施
平成 4 年 4 月	診療報酬点数表甲表採用 体外衝撃波胆石破碎術の施設承認
6 月	5 階西（64 床）、7 階西（57 床）、8 階西（60 床） ・・・特 3 類看護の承認（累計 9 病棟、484 床、66.3%）
11 月	薬剤管理指導施設承認（脳神経外科）
平成 6 年 1 月	8 階東（65 床）、9 階東（61 床） ・・・特 3 類看護の承認（累計 11 病棟、610 床、83.6%）

- 4月 婦人検診車による婦人検診事業を廃止
総務課出納係設置（平成16年3月廃止）
救急センター看護部門三交代制の実施
週40時間制勤務の実施
「すこやかルーム」において人間ドック開始（宿泊は契約ホテル）
- 平成7年 8月 前立腺高温度治療装置プロスタロン始動（平成20年廃止）
- 平成7年 2月 外来処方オーダーリングシステム稼働
- 5月 新看護基準届出 一般 685床 2.5対1看護、10対1看護補助
結核 45床 特2類看護
- 平成8年 1月 救急車からの心電図等受信および救急救命士に対する具体的指示の実施
- 3月 医事ネットワークシステム稼働（医事会計システムの全面更新）
- 9月 県立宮古病院との画像伝送システム稼働（病理）
- 平成9年 4月 病理診断センターの設置
- 5月 県立釜石病院との画像伝送システム稼働（MRI）
- 6月 県立大迫病院（現附属大迫地域診療センター）との画像伝送システム稼働（CT）
- 11月 第1駐車場改修（立体化）
- 12月 入院処方オーダーリングシステム稼働
- 平成10年 6月 薬剤管理指導施設届出（全診療科）
がん診療施設情報ネットワークシステム（TVカンファレンス）参加開始
- 7月 県立胆沢病院との画像伝送システム稼働（病理）
- 平成11年 2月 病院機能評価「一般病院種別B」の認定（(財)日本医療機能評価機構）
新看護基準届出 結核45床 2.5対1看護、10対1看護補助
- 5月 外部経営診断受審開始。平成12年7月診断結果報告
- 9月 県立福岡（現二戸）病院との画像伝送システム稼働（病理）
- 11月 院外処方箋を全科で発行
- 平成12年 10月 ボランティアの会「ひまわり」活動開始
- 平成13年 3月 いわて情報ハイウェイTV会議システム整備
- 4月 トータルオーダーリングシステム稼働
県立磐井病院との画像伝送システム稼働（病理）
- 9月 救急隊との事例研究会開始
- 11月 地域医療連携室設置(FAXでの診療予約開始)
急性期病院加算算定（平成18年3月まで）
PHS導入（全診療科長携帯→14年8月全医師携帯）
- 平成14年 1月 日帰り脳ドック実施
- 4月 第1内科を血液内科に、第2内科を総合内科・腎臓内科に変更
- 5月 ホームページを刷新
- 平成15年 2月 入院基本料届出 2対1（一般・結核）
- 8月 救急患者の事後検証実施（メディカル・コントロール体制実施）
- 12月 地域がん診療拠点病院指定
- 平成16年 1月 院内全面禁煙
- 7月 院内での携帯電話の使用を原則的に認める。図書室を患者に開放
- 9月 女性外来開設
- 10月 乳腺外来開設
- 11月 ISO14001 適合組織の登録

	12月	病院機能評価機構の更新認定(一般病院 Ver.4) ER (救急患者専用) 病棟の運用開始 外来患者の番号による呼出しの開始
平成 17 年	3月	県立中央病院あり方検討委員会の報告書が提出される
	4月	セカンドオピニオン外来開設
平成 18 年	2月	診療情報管理士 2 名採用、医療情報管理室設置
	3月	県庁職員診療所廃止
	4月	がん化学療法科新設 附属紫波地域診療センター(19床)開設 (旧紫波病院) 業務企画室設置 (業務管理室と業務係を統合) 入院基本料届出 10 対 1 (一般・結核)
	6月	DPC (急性期医療に係る診断群分類別包括評価) 対象病院
平成 19 年	4月	附属大迫地域診療センター(19床)開設 (旧大迫病院) 県立千厩病院との画像伝送システム稼働 (病理)
	7月	地域医療支援病院取得 増築棟工事起工
	10月	病院敷地内全面禁煙
	11月	本館附帯設備工事起工
平成 20 年	4月	地域医療福祉連携室設置 (地域医療連携室と医療相談室を統合)
	5月	診断書受付コーナー新設
	6月	結核病棟 (45 床) 廃止
	7月	入院基本料届出 7 対 1
	9月	県立高田病院との画像伝送システム稼働 (CT)
	10月	ホームページを刷新
	11月	県立釜石病院、県立沼宮内病院 (現附属沼宮内地域診療センター) 及び西城病院付 属ひがしやま病院との画像伝送システム稼働 (CT)
	12月	増築棟竣工
平成 21 年	3月	PET-CT 稼働
	4月	附属紫波地域診療センター及び附属大迫地域診療センターを無床診療所に移行 卒後臨床研修評価機構の新規認定
	6月	病院機能評価機構の更新認定(一般病院 Ver. 5)
	12月	ER・HCU病棟 (ER12床、HCU8床) 稼働
平成 22 年	1月	病院機能評価機構の付加機能 (救急医療機能) の新規認定
	11月	電子カルテ稼働
	12月	本館附帯設備竣工
平成 23 年	3月	東日本大震災・津波によるDMAT始動、高田病院・宮古病院へ後方支援
	4月	附属沼宮内地域診療センター(無床)開設 (旧沼宮内病院)
平成 24 年	4月	心臓カテーテル日帰り検査開始 総合内科を総合診療科に変更
平成 25 年	3月	沖縄県立中部病院と友好病院提携
	4月	非常用発電機更新工事起工 卒後臨床研修評価機構の更新認定
	7月	へき地医療拠点病院指定
平成 26 年	2月	外来第 1 駐車場増設

- 平成 26 年 3 月 病院機能評価機構の更新認定（一般病院 2 Ver.1.0）
非常用発電機更新工事竣工
- 5 月 病理診断科追加標榜
- 10 月 患者用図書室「ひまわり図書室～医療情報プラザ～」開所
- 12 月 院内 Wi-Fi サービス開始
- 平成 27 年 2 月 トイレ改修工事起工
- 平成 28 年 2 月 トイレ改修工事竣工
- 平成 28 年 11 月 ICU改修工事竣工
- 平成 29 年 3 月 エレベーター工事竣工

3. 立地条件及び診療圏

(1) 立地条件

当院は、北西側に岩手大学、盛岡第一高等学校、北側に杜陵高等学校、北東側に上田中学校などのある文教地区といわれる一画に位置し、形状は東西に約 280m、南北に約 119mのほぼ長方形の形をした約 30,000 m²の広さをもっている。

最寄りの J R 駅は、盛岡駅（東北新幹線・東北本線）がある。盛岡駅からタクシーで約 10 分、バス（県交通：松園行盛岡一高前下車徒歩 5 分と市内病院循環線）で約 20 分となる。

また、近くには桜の名所「高松の池」があり市民の憩いの場となっており、病室からは、雄大な岩手山が眺望でき比較的騒音も少なく、病院運営に適した環境に位置している。

(2) 診療圏

四国 4 県に匹敵する広大な面積を有する岩手県は、20 県立病院と 6 地域診療センターを運営する中で、当院は県営医療の中核機関として、県都盛岡市をはじめ、県内 33 市町村はもとより、県外からも多数の患者が来院している。

また、信頼される病院づくりを運営の基本とし、他の医療機関との機能分担と相互連携を図りながら診療にあたっている。

4. 当院の特色

診療体制の充実

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ チーム医療による 6 診療センター 消化器センター（消化器内科、消化器外科、内視鏡科） 循環器センター（循環器内科、心臓血管外科） 脳神経センター（神経内科、脳神経外科） 呼吸器センター（呼吸器内科、呼吸器外科） 腎センター（腎臓・リウマチ科、泌尿器科） 小児・周産期センター（小児科、小児外科、産婦人科） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急医療体制 救急告示病院 二次救急輪番制病院 小児救急輪番制病院 |
|---|--|

患者サービスの充実

- ・ かかりつけ医からの FAX による診療予約制
- ・ 紹介状を持参した新患の優先診療や紹介状を持っている患者の電話予約受付
- ・ 再来患者の診療予約制及び電話による診療予約日変更
- ・ 電子カルテシステム
- ・ 院外処方箋の発行（全科）

- ・受付、ナースステーション等のオープンカウンター方式
- ・病棟に患者食堂（面会室）を設置
- ・適時適温給食
- ・七夕コンサート・クリスマスコンサートの実施
- ・庭園、散策路、BGM放送
- ・敷地内全面禁煙
- ・来院者用コインロッカー
- ・投書に対する回答の院内掲示
- ・患者に図書室を開放、患者に図書の貸出し、外来用図書（ひまわり文庫）、患者用図書室【ひまわり図書室～医療情報プラザ】の設置
- ・小児科外来待合室に本の読み聞かせコーナー設置（ボランティアの会）
- ・患者用クリティカルパス
- ・ホームページの設置、外来紹介ポスターの掲示
- ・院内での携帯電話の使用（ICU等禁止区域あり）
- ・現金自動支払機の設置、クレジットカードによる医療費の支払い
- ・診断書受付コーナー設置
- ・患者用Wi-Fiの提供

5. 歴代院長

- 敷波 義雄（昭和8年3月～昭和20年3月）
 猪狩 正雄（昭和20年4月～昭和22年4月）
 楠 信雄（昭和22年4月～昭和26年3月）
 敷波 義雄（昭和26年4月～昭和34年6月）
 若林 衛夫（昭和34年6月～昭和35年3月院長心得）
 桂 重鴻（昭和35年4月～昭和40年6月）
 桂 重次（昭和40年7月～昭和45年7月）
 金子 保彦（昭和45年7月～平成元年3月）
 小山田 惠（平成元年4月～平成8年3月）
 渡邊 登志男（平成8年4月～平成12年3月）
 樋口 紘（平成12年4月～平成18年3月）
 佐々木 崇（平成18年4月～平成24年3月）
 望月 泉（平成24年4月～現在）

6. 施設の概要

(1) 土地

病院敷地面積 29,246.51 m²

(2) 建物

（構造規模）鉄骨鉄筋コンクリート造 （階 層）地下1階、地上10階塔屋1階
 （建築面積）9,414.46 m² （延床面積）53,836.26 m² （高さ（最高部））47.5m

(3) 付属施設

駐車場 961台（外来者用536台、職員用425台〔うち借上195台〕）
 医師住宅（上田） 鉄筋コンクリート造5階18戸

合同公舎（上田寮） 鉄筋コンクリート造4階30室

(4) 標ぼう診療科

腎臓・リウマチ科、内科（総合診療科、がん化学療法科、健康管理科）、血液内科、消化器内科（消化器内科・内視鏡科）、消化器外科、外科、乳腺・内分泌外科、放射線科（放射線診断科、放射線治療科）、麻酔科（麻酔科、ペインクリニック科）、精神科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、心臓血管外科、整形外科、**形成外科**、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、呼吸器外科、小児外科、神経内科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、病理診断科、以上 **28** 診療科

(5) 許可病床数

一般 685床